

---

# 十二玉遊戯

流華

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

十二玉遊戯

### 【コード】

N0688Z

### 【作者名】

流華

### 【あらすじ】

ただの村娘のいのりはいつか伝説の玉を集めることが目標だけど、その玉の妖達は蛇仁に操られていて

！？

## 第一章 伝説の始まり

少女は、彼の伝説に憧れた。

「おかあさん!!!いのりは大きくなったら、伝説の玉を集めるの!!!」

「ふふ、頑張つてね」

「うん!!!」

そして、時間がたち少女は大人になった。

・  
・  
・  
・

「お母さん、水汲み行つてきまーす!!!」

「わかったわ。気をつけて行つてくるのよ」

「はい!!!」

私は水汲み場に向かう。

「よいつしよつと……こんなもんかな？」

私が水汲み場で水を汲んでいると森の方から奇妙な唸り声が聞こえてきた。

「なにつ！？」

グルルルツ、ニンゲン……

「なんなのよ！？」

後ろを振り返ると異形の姿をした獣がこちらを見つめていた。

ニンゲン……ジャジン……ノテキ！

「うわっ！？」

その異形の姿をした獣はこちらに襲われたが、間一髪のところ  
避けた。

グルルルツ、クルシ……イ、タスケテ

「え？」

苦しんでいるの？助けてほしいの？でもどうしたら……

コレデ……オワリダ

「！？」

こんな所で終わるわけには、伝説の玉を集めるまでは……！

ピキッ……

目をつぶると何かにひびが入る音がした。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0688z/>

---

十二玉遊戯

2011年12月2日18時49分発行